

法人（事業所）理念		・障がい児とその家族が住み慣れた地域で、より安心で快適な生活が送れるよう地域福祉の推進に努める。 ・利用者の基本的人権を尊重し、個々の能力に応じ日常生活に必要な福祉サービスの提供に努める。		
支援方針		・障がいのある子どもたち一人一人に向き合い、寄り添い安心安全に過ごせる環境を作る。 ・それぞれが抱えている課題・特性を理解し、協調性・社会性を育てる。 ・将来自立した生活を送るために必要な支援をしていく。		
営業時間		10時00分から17時30分まで	送迎実施の有無	あり
支援内容				
本人支援	健康・生活	生活リズムを整えるとともに、生活習慣の形成、基本的なスキルの獲得を目指す。健康状態のチェックと小さなサインから心身の異変に気付けるよう細かな観察を行う。医療ケア児への適切なケアの実施。障害の特性を配慮し、タイミングや状況を分かりやすく構造化し、見通しを持って取り組める工夫をしていく。		
	運動・感覚	感覚統合遊びを通して、楽しみながら身体の発達を促す。（粗大運動・微細運動）日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善を図る。		
	認知・行動	一人一人の認知の特性を理解し、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援する。日付や曜日、スケジュールを視覚で分かるように掲示し概念の習得を図る。活動内容や周囲から情報を得やすいように、絵カードやポスターを用いて見える化し、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援する。		
	言語・コミュニケーション	簡単な挨拶や会話など円滑なコミュニケーションを行うことができるように支援する。話し言葉や文字・記号などを用いて、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりする能力を向上させる支援する。指差しや身振り、表情やサイン、文字や絵カードなどのコミュニケーション手段を適切に活用し、環境の理解や意思の伝達を支援する。		
	人間関係・社会性	一人遊びや集団遊びの活動を通し、自己理解や他者理解を養う。人との関係を築き信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。一人遊びから集団遊びへの移行を促し、ルールやマナーなどの知識と社会性の発達を支援する。また自己の行動や感情を理解し、コントロールできるよう支援する。		
家族支援		お子さんの発達状況を相互に理解できるよう連絡帳・オンライン・電話により情報共有を実施。保護者面談、懇談会の開催、レスパイト支援を実施する。	移行支援	個々のライフステージに合わせた支援を実施する。 卒後の進路先と必要時連携する。
地域支援・地域連携		併用事業所、学校など必要時連携を取る。 地域自立支援協議会子ども部会に参加し、 地域課題の共有・解決や研修に参加、関係者会議に参加。	職員の質の向上	地域自立支援協議会勉強会や施設内研修、オンライン研修等の積極参加。
主な行事		外出活動（長期休み）、夏祭り（8月）、ハロウィン（10月）、クリスマス会（12月）、お誕生日会、ボランティアコンサート、避難訓練など		